

業務名 (業務コード)		搬入確認情報登録 (システム対象外保税運送) (O I N)																				
項番	欄	項目名	ID	属性	桁	繰1	繰2	条件								コード	入力条件/形式					
1		入力共通項目		an	398			M														
2		保税運送申告番号	OL T	an	11			M														
3		運送種別	US B	an	3			M													(1) 貨物の運送種別を入力 S E A : 海上貨物 A I R : 航空貨物 M A L : メール B A G : 手荷物 (2) スプリット表示に「S」が入力された場合は、「A I R」以外は入力不可 (3) 不明の場合は、「UN K」を入力	
4		搬入開始年月日	S D T	n	8			M														搬入開始年月日 ≤ 搬入終了年月日 ≤ システム年月日であること
5		搬入開始時刻	S T M	n	4			M														搬入開始年月日時刻 < 搬入終了年月日時刻 < システム年月日時刻であること
6		搬入終了年月日	E D T	n	8			M														搬入開始年月日 ≤ 搬入終了年月日 ≤ システム年月日であること
7		搬入終了時刻	E T M	n	4			M														搬入開始年月日時刻 < 搬入終了年月日時刻 < システム年月日時刻であること
8		無料期間適用表示	A L C	an	2			C									航空会社コード					保管料の無料期間を適用する場合は、航空会社を入力
9	10	AWB番号	A W B	an	20			M														(1) 16桁以内で入力 (2) 先頭3桁が「X X X」の場合は、処理対象外とする。
10	*	スプリット表示	S P T	an	1			C														(1) スプリット貨物の場合は、「S」を入力 (2) 既にスプリットの旨が登録済の場合は、省略可
11	*	品名	C M D	an	21			M														
12	*	発送個数	P C S	n	6			M														
13	*	到着個数	A P S	n	6			C														発送個数と実際に到着した個数に相違がある場合は、到着した個数を入力
14	*	総個数	G P S	n	6			C														(1) スプリットを入力した場合は、必須入力 (2) 到着個数及び発送個数 < 総個数であること (3) 既に総個数が輸入貨物情報DBに登録されている場合は、省略可。ただし、入力された場合は入力を有効とする。
15	*	重量	W G T	n	8			M														整数部6桁、小数部1桁
16	*	重量単位コード	J T I	an	3			C									重量単位コード					省略した場合は、上位欄の重量単位コードを引き継ぐ K G M : キログラム L B R : ポンド
17	*	総重量	G W T	n	8			C														(1) スプリット貨物の場合は、必要に応じて総重量を入力 (2) 到着重量 < 総重量であること (3) 既に総重量が輸入貨物情報DBに登録されている場合は、省略可。ただし、入力された場合は入力を有効とする。
18	*	総重量単位コード	G T I	an	3			C									重量単位コード					省略した場合は、上位欄の重量単位コードを引き継ぐ K G M : キログラム L B R : ポンド
19	*	到着便名1	F L 1	an	6			M														(1) 運送種別に「A I R」と入力した場合は、必須入力 (2) 不明の場合は、「UN K」を入力。ただし、運送種別欄に「A I R」が入力された場合は、「UN K」は入力不可。また、運送種別欄が「A I R」でない場合は、「UN K」を入力 (3) 航空会社コード+フライト・ナンバーを入力 (4) フライト・ナンバーについては、3桁又は4桁の入力が可能。4桁目については、英・数記号が可、それ以外は数字とする。
20	*	到着便名2	F L 2	an	5			C														(1) 到着便名1に「UN K」を入力した場合は、入力不可 (2) 便名の日付部を以下の形式で入力 D D M M M M
21	*	入港年月日	A D T	an	8			M														(1) 貨物が本邦に最初に到着した年月日を入力 (2) 入港年月日 ≤ システム年月日であること (3) 不明の場合は、「UN K」を入力
22	*	積出地	O R G	an	3			M									I A T A 空港コード及び I A T A 都市コー					システムに登録されていない積出地または不明の場合は、「Z Z Z」を入力

業務名 (業務コード)		搬入確認情報登録 (システム対象外保税運送) (O I N)																					
項番	欄	項目名	ID	属性	桁	線1	線2	条件										コード	入力条件/形式				
23	*	取卸港	PO L	an	3																IATA空港コード	(1) 運送種別が「AIR」の場合は、必須入力 (2) 不明の場合または「AIR」以外の場合は、「ZZZ」を入力	
24	*	特殊貨物記号	SP C	an	3																	SPC (特殊貨物) コード	
25	*	事故貨物	DM G	an	5																	事故コード	(1) 複数の事故がある場合は、代表とするものを入力 (2) 税関届出を必要とする事故は、先頭1桁目に「Z」を入力 (3) 税関届出を必要としない民間の事故は、入力自由
26	*	手作業記号	MS T	an	1																		(1) ロケーション管理を手作業で行う場合は、「M」を入力 (2) 入力者が通関業の場合は、入力不可
27	*	ロケーション	LO C	an	80																		(1) 入力形式 ロケーション、符号「,」、個数 例) ABC, 個数 ①ロケーション: 3桁以上の英数字 ②個数: 6桁以内の数字 ③単独ロケーション入力の場合、個数は省略可 ④複数ロケーション入力の場合、ロケーションと個数は対となっていること ⑤ロケーションと個数は「,」で区切ること (2) 特殊貨物ロケーションコード (保管料対象) の場合 ロケーション (3桁)、符号「,」、個数 例) VAL (個数の省略可) VAL, 個数 (複数ロケーション入力可) VAL/ABCD, 個数 (「/」以降は自由入力) (3) SP貨物の場合は、先頭2桁に「SP」を入力 例) SPX (3桁で入力) (4) 特殊貨物ロケーションコードは、5種類以内であること (5) スプリット貨物の場合、保税蔵置場単位のロケーション桁数の合計が80桁以下であること。 (6) 入力者が通関業の場合は、入力不可